

SS-Lecture 第7回講座

「AI時代に負けない力 -がん・老化研究から学べること-」

平成31年2月26日(火) 本校

学年末考査最終日の午後、群馬大学生体調節研究所の山下孝之先生による講座「AI時代に負けない力-がん・老化の研究から学べること-」が行われました。

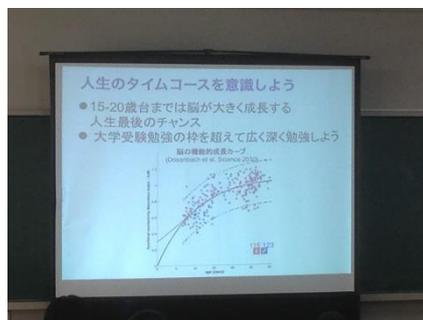
細胞は老化するのか？正常な細胞は分裂をするたびにテロメアが短くなり老化する。老化した細胞はSASPと呼ばれるホルモン様因子を分泌し加齢現象を引き起こす。老化細胞を除去することが加齢現象の抑制となり、寿命の延長につながる。また、がん細胞は永久に分裂を繰り返す。がん細胞は複数の遺伝子変異によって増殖能が亢進する。がん遺伝子はアクセル、がん抑制遺伝子はブレーキ、DNA修復遺伝子はメンテナンス。難しい内容ではあるものの、がんの進行について自動車に例えてわかりやすく説明していただき、理解することができました。

生徒の感想には、「生物基礎で学習した内容しか知識がありませんでしたが、少し深くまで知ることができ、興味深く思いました。」「未知なことが多い中で、課題に立ち向かう研究者の考え方、“Serendipity”の大切さがわかりました。」「今までの生物の知識やテレビや本の知識から想像したり考えたりすることが多くできました。また、先入観で惑わされるのではなく、様々な角度から物事を見ることが新しいものの発見に必要なということを学びました。」など充実した講義内容に満足しているようでした。

最後に、15~20代の今、脳が大きく成長するチャンスであるということ、成長するために目標達成シートを活用してみてもよいなど紹介もあり、生徒にとって今後の高校生活にとってもよい刺激となったようです。



講義の様子



脳の成長チャンスは今！